

井高 だより

平成27年度
第5号

2015年 7月15日
発行：岡山県立井原高等学校
http://www.ibara.okayama-c.ed.jp

芸術鑑賞会

扇子がお著に見えてきた

六月三日、本校北校地体育館にて、桂一門の落語家三名をお招きして、「芸術鑑賞会」が行われました。まず矢掛町の多聞寺副住職でもある桂米裕さんによる落語に関する解説がありました。落語の小道具やシエスチャ、起源をはじめ、基本的な知識についてわかりやすく面白く解説してください、落語をより身近に感じることができました。その後、桂吉の丞さんによる「動物園」、最後は桂團朝さんによる「子ほめ」を鑑賞しました。出演者のシエスチャや表情、また声の強弱など臨場感にあふれ、生徒は落語に引き込まれていきました。

米裕さんよりの

本物のお坊さんです。お経から余興まで幅広く活躍中。笑いたい時も死にたい時もお氣楽に。

お坊さんらしい



奥が深い

全員に向けてしっかりアドバイス



園芸科・家政科3年

卒業生進路

懇談会

卒業生からの言葉で
進路意識向上

五月二十七日、園芸科・家政科三年生対象に、卒業生進路懇談会が開催されました。様々な業界で、社会人として活躍している卒業生十人が母校を訪れ、後輩達のためにアドバイスをしてくれました。第一部は、仕事の内容・楽しさ・厳しさ、社会人としての心構え、そして、高校生活のアドバイスなどの話を三年生全員で聞きました。第二部は、十のグループに分かれて、仕事内容についてさらに詳しい話や卒業までにすべき事などを聞きました。

グループごとにさらに詳しく



三年生からは積極的に質問をしました。先輩の話を聞いて、自分の進路について真剣に考え、一層強い思いを持つことができました。三年生の感想を紹介します。「今回の卒業生進路懇談会で印象に残った言葉が二つある。一つは、『続けていけないと何も見えてこない。』という言葉だ。学んでいこうとする気持ち大切に続けていけば視野が広がり、今まで見えていなかったものが見えてきたり、知らなかったことがわかったりすることを学んだ。もう一つは、『夢は逃げない。逃げるのは自分。』という言葉だ。自分の今までの言動がその言葉通りだったのだから、心に響いたと同時に、心にささった。進路選択が目前に迫ってきた中、もう一度しっかりと自分の将来について考えたいと思う。」

部活動報告

インターハイ出場権獲得
男子新体操部・陸上部

第五四回岡山県高校総体が六月六日(土)・七日(日)を中心で開催されました。今年度は新体操部の小川恭平君(普通科二年)が個人の部で優勝、陸上部山崎友哉君(普通科三年)が三位入賞となり、中国大会に出場しました。そこで小川恭平君は優勝、山崎友哉君も六位に入賞し、七月二十八日から近畿で行われる「2015君が創る近畿総体」への出場権を獲得することができました。また、新体操男子団体も県総体、中国大会どちらも優勝し、インターハイ出場の切符を手に入れています。

フワアレンシメント 全国大会へ

井原高校で農業クラブフワアレンシメント競技県大会が六月五日に開催され、中村香澄さん(園芸科三年)が優勝しました。大小二種類のカーネーションを使用して、ブーケをドーム状に仕上げました。十月三十一日に開催される全国産業教育フェア三重大会に岡山県代表として出場します。